

提供機関:金沢大・環日センター・臨海実験施設

科目名	海の動物の探索演習 (副題:能登半島での臨海実習)			復習用ビデオの録画・配信 —	開講期間	7月14日～7月16日			
	英文科目名	Amarine exercise in Noto Peninsula		テレビ会議システム —	開講時間	14日13時より～16日12時まで			
担当教員	鈴木 信雄			eラーニング —	開講場所	金沢大学・臨海実験施設 (石川県鳳珠郡能登町小木)			
受講定員等	単位数 2単位 定員数 20名 特別聴講学生等定員 科目等履修生定員 シティカレッジ聴講生定員 定員超過時の選考方法等 大学が偏らないように考慮				成績評価の方法	演習の理解度と熱心さ及び結果についての発表で判定する。			
授業料等	特別聴講学生 (大学等に在籍する学生)				科目等履修生 (社会人で単位を必要とする者)				その他特記事項 臨海実験施設へのアクセスは、自家用車で、能登有料道路を利用して金沢から2時間30分程度、また、北陸鉄道バスによるアクセスも可能である。海に入る時は、手に軍手をはめ、足には底がしっかりした靴を履き、体の表面が出ていない服装が必要である。例えば、ジャージを着るなど。パジャマ(ジャージでも可)、洗面用具を用意すること。
	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	募集期間:3月15日～3月23日				
				教員の指示に従う	検定料	入学料	授業料	別途負担費用	
科目の内容	海の動物についてこれまで教科書で得た知識を、実際に海に入り、採集等の手で触り、海の中を見ることによって、生きた知識に変える。まず、海洋生物の分類学の基礎知識を講義する。その後、近くの海岸へ行き採集を始める。得た動物をまず、自分で図鑑等により分類し、種の同定をする。それが正しい種であるとわかった時は、精密なスケッチをする。乗船しプランクトンを採集し、観察する。また、小さな地引網により、小動物を採集する。それらも分類・同定する。乗船時には、簡単な海洋観測も行う。釣りによる、魚の採集も行う。総合討論を行い、海の動物の多様性とそれらがなぜ、今、必要なかを議論する。								
授業担当教員紹介				URL	http://web.kanazawa-u.ac.jp/~ysasayam/index01.htm				
ホームページ・メールアドレス等				E-mail	nobuos@staff.kanazawa-u.ac.jp				